

YIA 会員だより 2026 年 1 月号

発行；吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)

第 253 号 ホームページ URL <https://yia2020.net/>



【1 月以降の活動予定他】

◎外国人お遍路ガイド

第 38 回 1 月 12 日 (月)

88 番札所大窪寺、前山おへんろサロン訪問

(天候不良の際は通常通り 10:00～11:30

文化研修センターで)

第 39 回 1 月 31 日 (土) 13:00～14:30

場所：文化研修センター

◎もちつき大会 場所：西麻植青年会館

日時：2026 年 1 月 18 日 (日) 8:30～12:00

◎第 9 回理事会 場所：文化研修センター

日時：2026 年 1 月 24 日 (土) 15:00～

◎YIA 新年会 場所：昌郎 (予定)

参加費：3000 円 (飲む人はプラス)

日時：2026 年 1 月 24 日 (土) 17:00～

◎多文化共生講演会 場所：文化研修センター

日時：2026 年 3 月 8 日 (日) 午後

◆年頭のご挨拶

瀬尾 規子

皆様、新年あけましておめでとうございます。
本年も YIA 活動へのご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

昨年も支援部、交流部、広報部、それぞれに充実した活動をしていただきました。担当された方々には、お忙しい中、企画・運営していただき、ありがとうございました。



どのイベントも笑顔がいっぱいで、地域の外国人の皆さんと一緒に多文化共生社会を实践できたことを嬉しく思います。吉野川市制 20 周年、板野町制 70 周年を記念して作られた映画「道草キッチン」の PR イベントとして、11 月 16 日に「道草マルシェ」が鴨島駅前周辺で開催されました。萩森副会長始め、日本語教室の講師の皆さんのネットワークで、在住ベトナム人やインドネシア人など外国人約 200 人が集まり、市民の皆さんなど約 300 人が参加し、ランタンが飾られたイベント広場で、ベトナム料理やベトナムの竹遊びなど楽しみました。大盛況でした。

お遍路ガイド講座では、11 番札所藤井寺でお接待を体験しました。「へんろころがし」と呼ばれる 11 番札所から 12 番札所の遍路道を歩く外国人が多いことに驚きました。地域資源を活かした国際交流も発展させていきたいと思っています。

今年も、市民の皆さんが外国人と身近に触れ合い、楽しめる国際交流の場を企画したいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

◆第9回グローバルセミナー

川真田 睦子

11 月 29 日、第 9 回グローバルセミナー「南アフリカ共和国あれこれ」が開催されました。講師は、阿波市で ALT をされている南アフリカ共和国出身のアティさんでした。アティさんは、子どもの頃から日本のアニメの「ドラゴンボール」などで、日本に親しんできて、日本語も話せるそうです。将来の夢はゲームデザインの仕事に携わることだそうです。



南アフリカ共和国についてのお話を聞き、印象深かったことは、南アフリカ共和国は多くの点で多種多様な国だということです。例えば、地理ではテーブルマウンテンなどの高地やサバンナなどがあり、サファリでは、ライオン、ゾウなど多種類の動物が生息しています。Xhosa、Zulu などの多民族国家のため 11 言語が話されていますが、英語が国内広く使われているそうです。

また、金、ダイヤモンドなどの多くの鉱物資源があるため、アフリカで最も豊かで現代的な国ですが、経済、教育格差が大きく、道路で整然と区画された地区



と、家々が混然と集まっている地区が隣接している写真を見て、そのことがよく分かりました。遠く離れた南アフリカ共和国についてたくさん知ることができ、世界について興味が広がったセミナーでした。

◆国際交流バスツアー(神戸)の感想

クアン・ティ・ザイン

吉野川市国際交流協会が毎年行っている交流バスツアー。徳島で生活している外国人のみんなが繋がれるとても良い機会になっています。

私にとっても、普段会えない人たちと交流できる特別で大切な時間でした。

今年は、日本、ベトナム、タイ、インドネシア、ネパール、中国の6カ国から44名が参加しました。技能実習生や介護の仕事をしている方たちも、日頃の疲れを少し忘れて、のんびり休んだり、おしゃべりしたり、新しい友達ができたりと、笑顔が止まらない一日になりました。初めて会った人ともすぐに仲良くなれて、「また会おうね!」と言える仲間が増えました。

目的地は、神戸市立森林植物園とハーバーランド。紅葉がとても美しく、自然の中で深呼吸すると「気持ちいい〜!」と声が出るほどリフレッシュできました。港町・神戸の景色も最高で、写真を撮っていたら時間があっという間に過ぎてしまいました。

バスの中では、萩森健治先生が「この先は〇〇ですよ」「皆さん、もうすぐ着きますよ〜」と明るく案内してくれたので、まるで楽しいガイドさんと一緒に旅している気分でした。先生の優しい気遣いのおかげで、安心して参加できました。

一緒に参加していた日本人の方々もとても親しみやすく、写真を撮ってくれたり話しかけてくれたりして、すぐに打ち解けました。国籍は違っても笑顔があれば友達になれると感じました。



今回の交流を通して、徳島で生活する外国人同士がもっと近くなり、支え合えるつながりが広がったと思います。これからも仲良く交流を続けていきたいです。この経験は私にとって忘れられない思い出です。また、来年のツアーも今から楽しみにしています。最後に、このツアーを計画・運営してくださった吉野川市国際交流協会の皆さまに感謝いたします。本当にありがとうございました。

(注：ザインさんは、ベトナム出身で介護施設に勤務)

◆遊墨アート展で「俳句・書道」の作品鑑賞

萩森 健治

12月20～21日に県立文学書道館で開催された「遊墨アート2025」作品展に行き俳句作品を鑑賞しました。



作品展では、「遊墨会」会長の吉野美苑さんや会員の皆さんによる書道・水彩画・俳句などの作品とともに、「俳句・書道ワークショップ」

(6/22開催)の参加者による作品も展示されました。俳句・書道の作品は、日本語教室の外国人受講者や YIA 会員などが俳句講師の上窪青樹さんや吉野美苑さんの

指導を受けて制作したものです。和紙に書いた俳句の作品は、きれいな色紙に張り付けられ、美的センスの高い立体的な配置で展示されていました。また上窪さんの俳句ワークショップに飛び入り参加し、30人くらいの参加者と一緒に即興で俳句を作りました。

